

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料



松田産業株式会社
2026年8月7日





本資料は、弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

＜お問い合わせ先＞

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム：<https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

決算の概要（2027年3月期 第1四半期）



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

前年同四半期に比べ、売上高と営業利益、四半期純利益ともに増加
2027年3月期の業績予想について、5/13公表値から下記の通り上方修正

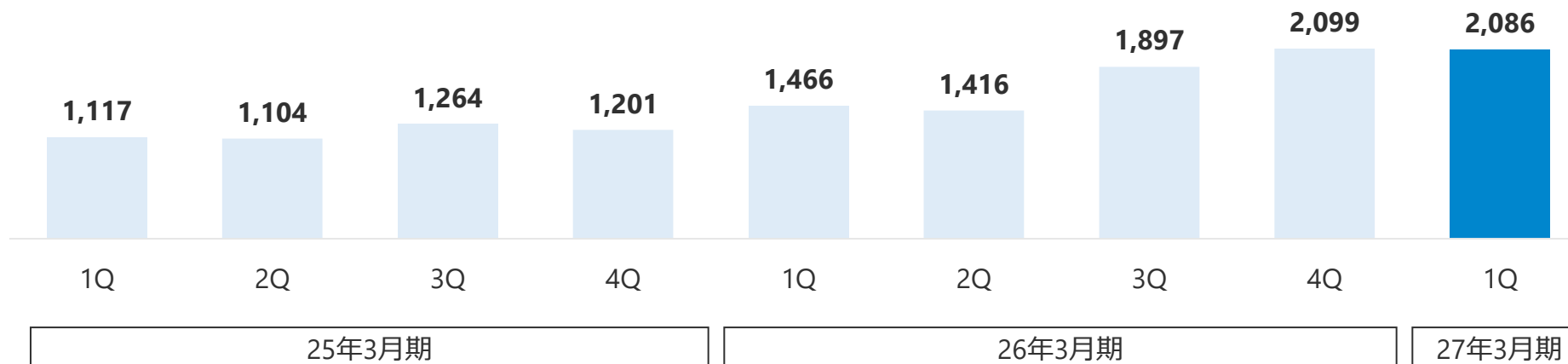
(億円)

	26年3月期 1Q実績	27年3月期 1Q実績	増減		27年3月期 通期見通し (8/7公表)
売上高	1,466	2,086	+620	+42.3%	7,400
営業利益	37	103	+65	+175.6%	285
営業利益率	2.6%	4.9%	+2.3pt	-	3.9%
経常利益	39	109	+69	+176.1%	296
四半期純利益	30	76	+46	+153.1%	206
1株当たり四半期純利益（円）	116.2	294.9	+178.7	+153.5%	797.1

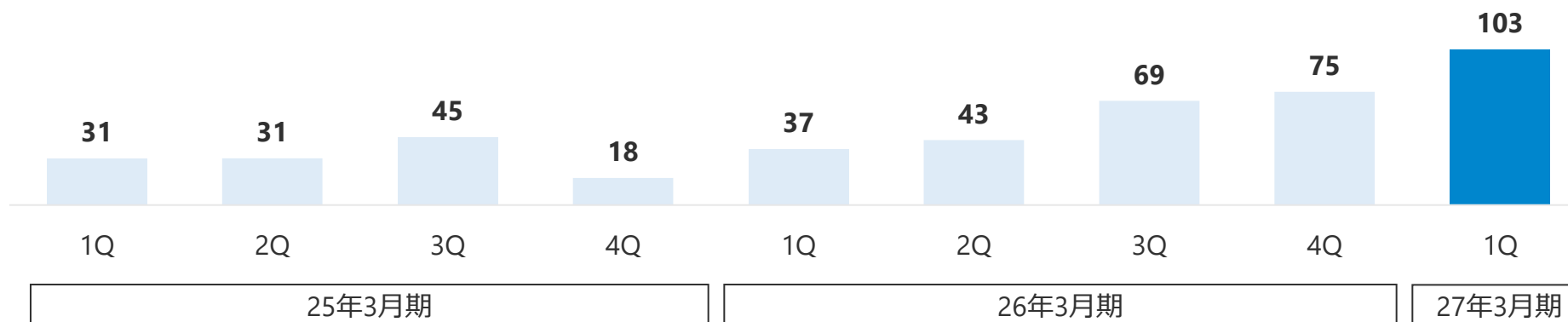
連結業績の四半期推移

(億円)

売上高



営業利益



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	26年3月期末	27年3月期 1Q末	増減	増減要因
流動資産	1,707	1,548	▲159	(-) 棚卸資産の減少
固定資産	570	576	+6	(+) 工場設備の新設等
資産合計	2,277	2,125	▲152	
【負債の部】				
	26年3月期末	27年3月期 1Q末	増減	増減要因
流動負債	839	622	▲217	(-) 買掛金、短期借入金、前受金の減少
固定負債	247	241	▲6	(-) 長期借入金の減少
うち有利子負債	524	456	▲68	
負債合計	1,087	864	▲223	
【純資産の部】				
	26年3月期末	27年3月期 1Q末	増減	増減要因
純資産合計	1,190	1,260	+70	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	2,277	2,125	▲152	
自己資本比率	52.0%	59.0%		

○ 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	26年3月期 1Q実績	27年3月期 1Q実績	増減	27年3月期1Q実績の概要
営業キャッシュ・フロー	1	74	+73	(+) 税金等調整前四半期純利益、棚卸資産の減少 (-) 仕入債務及び法人税等の支払
投資キャッシュ・フロー	▲15	1	+16	(+) 投資有価証券の売却、定期預金の払戻 (-) 工場設備の新設等
フリー・キャッシュ・フロー	▲14	75	+89	
財務キャッシュ・フロー	12	▲80	▲92	(-) 短期借入金、長期借入金、配当金の支払いによる減少
現金及び現金同等物の増減	▲4	▲4	▲0	
現金及び現金同等物の期末残高	109	140	+31	

セグメント別の業績（貴金属関連事業）

- エレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、引き続きAIデータセンター向け需要が牽引し、車載・産業機器・民生機器向け需要も緩やかな回復基調で推移
- 宝飾分野を含めた貴金属リサイクル取扱量が減少したものの、電子デバイス分野の増加や貴金属相場が前年同四半期を上回り、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加

					(億円)			
	26年3月期 1Q実績	27年3月期 1Q実績	増減		27年3月期 1Q実績	増減		増減要因
売上高	1,155	1,777	+622	+53.8%	金	1,299	+401 +44.7%	数量要因▲5.8%、価格要因+50.5%
営業利益	27	92	+65	+233.3%	銀	157	+91 +135.5%	数量要因▲5.3%、価格要因+140.8%
営業利益率	2.4%	5.2%	+2.8pt	-	白金族	218	+95 +77.2%	数量要因▲6.6%、価格要因+83.9%
					その他	101	+35 +51.7%	

セグメント別の業績（食品関連事業）

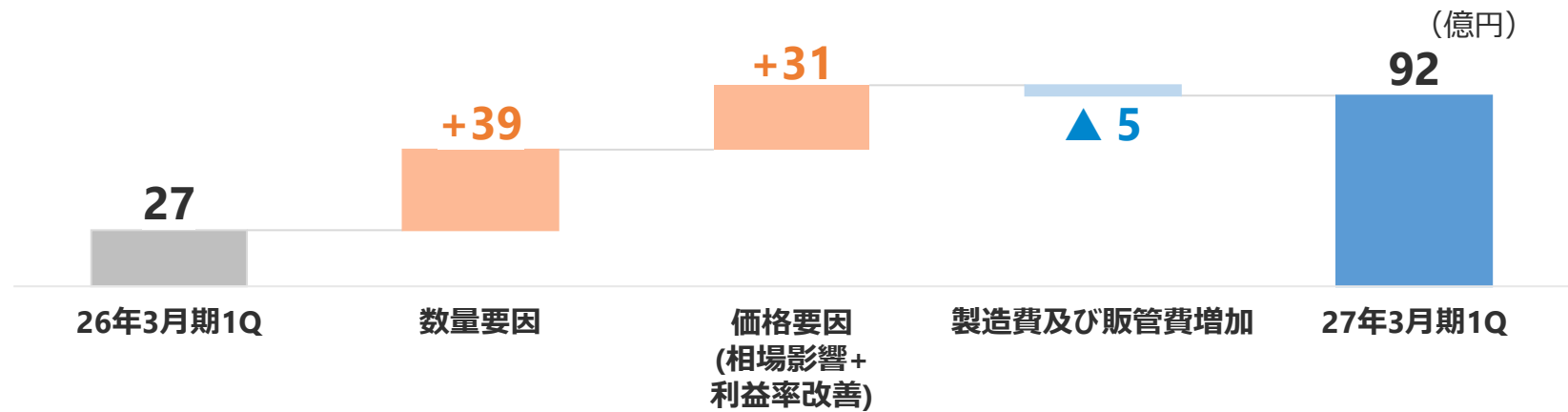
- 食品製造業界は、物価上昇などを背景として個人消費における節約志向が一段と強まるなど、需要面では厳しい市場環境
- 水産品及び畜産品の販売量が減少し、売上高は前年同四半期に比べ減少したが、価格転嫁及び付加価値向上などによる利益率の改善が寄与し、営業利益は前年同四半期に比べ増加

		(億円)			
	26年3月期 1Q実績	27年3月期 1Q実績	増減		増減要因
売上高	311	309	▲2	▲0.5%	
営業利益	9	10	+1	+8.3%	
営業利益率	3.1%	3.4%	+0.3pt	-	
水産品	114	▲6	▲5.0%	数量要因▲8.4%、価格要因+3.4%	
畜産品	127	▲5	▲4.1%	数量要因▲11.1%、価格要因+7.0%	
農産品	49	+14	+39.1%	数量要因+30.6%、価格要因+8.6%	
その他	17	▲5	▲18.9%		

営業利益の増減

- 貴金属関連事業は、電子デバイス分野での数量改善、貴金属価格スプレッドが貢献
- 食品関連事業は、販売量が減少も、付加価値商品の増加や価格転嫁などで利益率を改善

貴金属関連事業



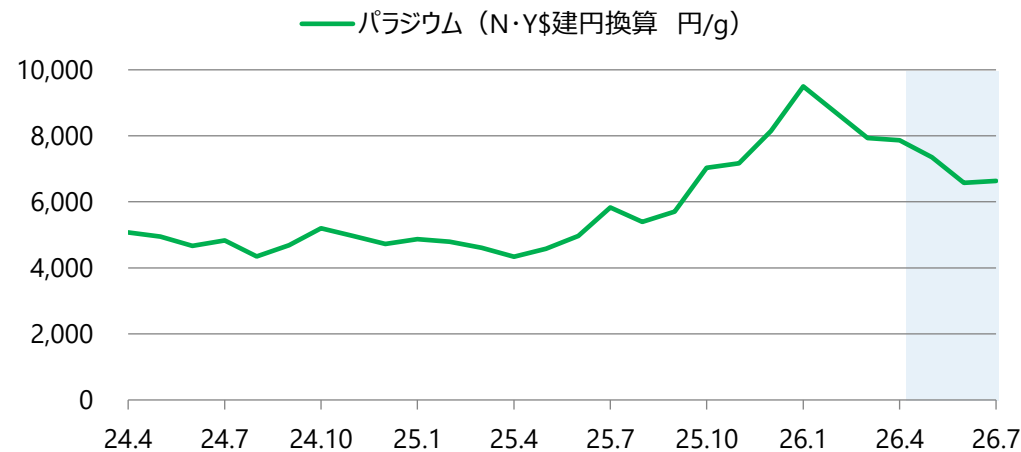
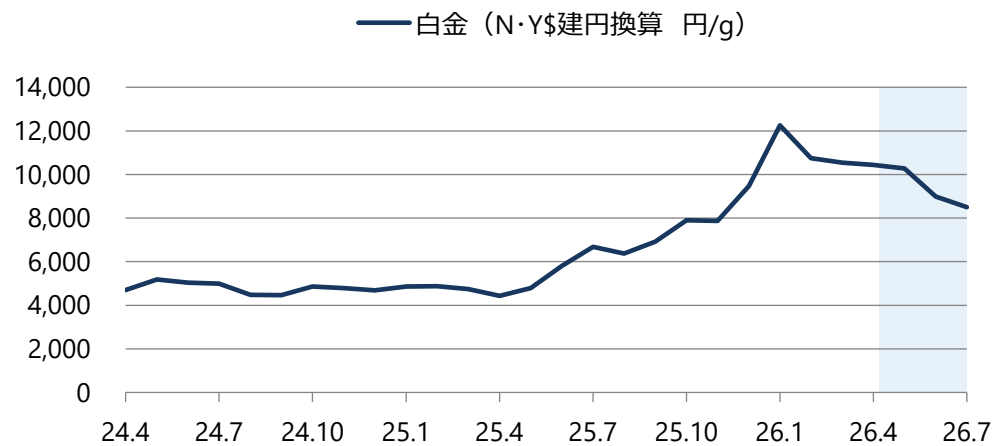
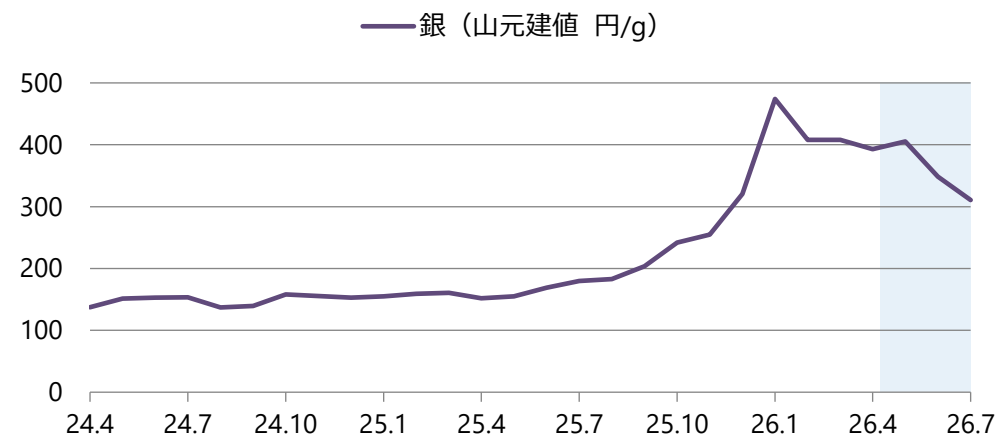
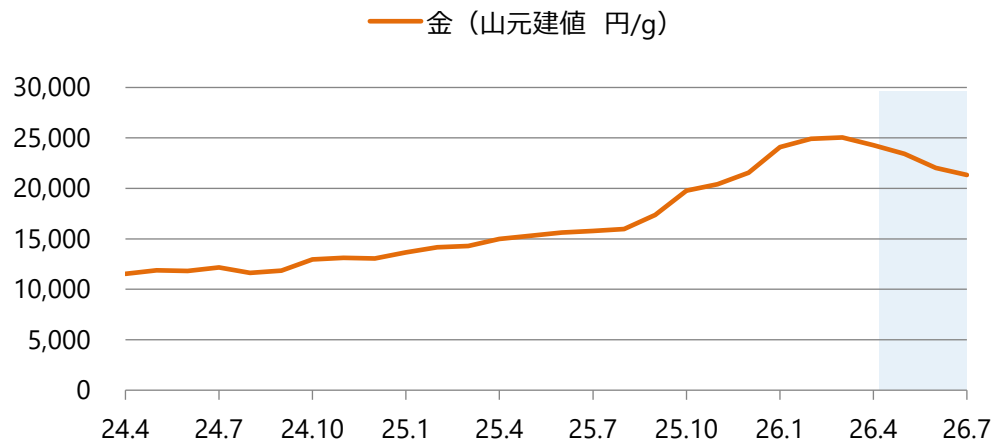
食品関連事業



Appendix



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.





松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.